



【主な成績】

近畿シニアバドミントン選手権シングルス優勝
全国シニアバドミントンシングルスベスト8

CLOSE UP

バドミントン [東近江市役所勤務]



小梶隆司 (56)

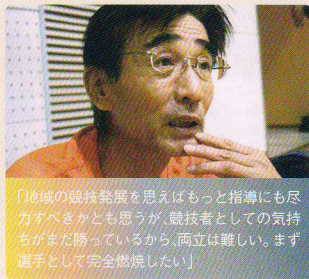
KOKAJI TAKASHI

尽きない意欲、冷めない情熱。

中学からバドミントンを始め、大学卒業後、社会人2年間で国体出場を果たすも一旦競技から離れるが、35歳で出場した大会を機に、シニア選手として第2の競技人生を送る。現在は、東近江市の総合型地域スポーツクラブ「コムスポようかいち」に在籍、クラブの練習日に週2回、20・30代の選手と対峙し、汗を流す。

年に1度の大舞台、全日本シニアバドミントンを11月19・21日に控え、ランニングの量を増やした。「全国で勝つ人には、鉄人のような人がいる。練習量もすごいと思う」とか。それでも、マイベースは崩さず「競技も仕事あつてのこと」と言い切る。

選歴が近くなり「年齢との勝負。今のレベルで戦えるのはあと1・2年かな」という一方「今はまだ勝ちたい気持ちが消えないし、バドミントンが好き」と語る小梶さんの競技人生は、まだまだ終わりそうにない。



「地域の競技発展を思えばもっと指導にも尽力すべきかとも思うが、競技者としての気持ちはまだ勝っているから、両立は難しい。まず選手として完全燃焼したい」